

加古川市障害者自立支援協議会専門部会 令和3年度活動報告と令和4年度活動方針

加古川市障害者自立支援協議会専門部会 事務局

(加古川市障がい者基幹相談支援センター)

令和2年度に引き続き、令和3年度も全ての専門部会を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントの中止だけでなく協議を重ねる会議自体の開催もやむなく見送ることが重なったが、連絡会・勉強会としての相談支援専門部会のみが染症対策に配慮し、定期開催を行うことができた。

1 各専門部会の活動報告と今後の活動方針

【くらし・こども専門部会】

□ くらし部会 開催：1回

令和3年度の取り組みの確認と令和4年度の方針について協議

◆地域生活支援拠点等コーディネート事業

- ・障害があっても安心して暮らし続けられる社会に必要なことを共有するための企画の検討を行った。

◆精神障がい者に対する支援について

- ・ピアサポーターの活動などの情報共有を行った。

◆協議内容と部会員の構成について

- ・多岐にわたる協議事項があるため、優先順位をつけその協議内容に合わせた部会員を招集する等、柔軟な対応を行う方針を検討した。

◆協議の促進を図るため、協議内容に合わせて部会員の追加等を含めた再編も考える。

□ こども部会 開催：なし

令和3年度は部会を開催できなかったが、ワーキングを1回開催

令和4年度は「医療的ケア」「就学児」「未就学児」のテーマでワーキングを設けて協議を始める方針となっている。

■ 医療的ケアワーキング 開催：1回

◇車両移送時の安全な車イス固定について福祉用具の業者とこども療育センター理学療法士（PT）からの講義を行った。

◇医療的ケア児・者に関わる支援者連絡会を行い、情報共有を行った。

【しごと・差別解消専門部会】

□ しごと部会 開催：1回

前年度の取り組みの確認と今後の方針について協議

- ◆令和4年度の部会開催の日程（開催月）を協議し、3ヶ月に1回の開催で決定した。
- ◆「事業所意見交換会」の開催について協議し、12月に事業所（就労移行、就労継続A・B、生活介護）間の連携強化の取り組みを行うこととなった。

□ 差別解消部会 開催：なし

検討課題が上がってこなかったこともあり、開催はなかった。

今後も、従来同様に協議案件が出てきた際に部会を開催する予定である。

【相談支援専門部会】 開催：12回

◆定例会の実施

- ・計画相談にかかるさまざまなテーマ（避難行動要援護者のための個別支援計画、コロナ禍における相談支援、障害福祉から介護保険へのスムーズな移行など）を取り上げ、グループワーク等を通して意見交換を実施した。
- ・毎月開催で進めてきたが、緊急事態宣言の発出や総合福祉会館がワクチン接種会場となり使えなかった際は、ケースを通じた地域課題や地域とのつながりについてのアンケート調査を実施し、その調査結果の共有や5グループでの分散開催といった対応により開催を継続した。

◆相談支援フォローアップ圏域研修との合同研修会の実施

「第1回 東播磨圏域 医療的ケア児等コーディネーター連絡会」として、尼崎市にある北部障害者基幹相談支援センターの松原未佳氏（相談支援専門員/医療的ケア児等コーディネーター）による講演と対談を開催した。

2 今後の活動方針

令和4年度に入り会議を開催しやすい社会状況に変わってきたこともあり、各専門部会も具体的な取り組みに向けて動き始める準備ができてきている。

2年近く止まっていた活動を再開するため情報共有等での時間を要することも想定されるが、具体的なテーマの設定や部会員の見直しなども含めて、あらためて自立支援協議会の目的の達成に資する取り組みを協議していく予定である。

以上